

## 第2回環境教育等推進専門家会議 2023年7月20日（木）

### 【話題提供】

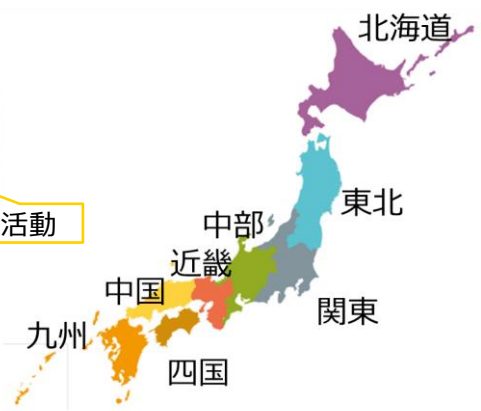
- ①ESD活動支援センター（全国・地方）について
- ②東北地方ESD活動支援センターの取組み概要
- ③実践事例 『ESDfor2030学び合いプロジェクト「ワールド・気候スタディズESD／SDGs」』
- ④大仙市立大曲南中学校 島田校長先生から




# ESD活動支援センター



2016年4月 ESD活動支援センター 開設  
2017年 地方ESD活動支援センター（8か所）開設



北海道  
東北  
関東  
四国  
九州  
中国  
近畿  
中部



学び  
活動  
持続可能な社会

「ESD 活動に取り組む様々な主体が参画・連携し、地域活動拠点の形成とともに、地域が必要とする取組支援や情報・経験を共有できる「**ESD 活動支援センター（全国・地方）**」を整備し、**地域の実態を踏まえた効果的な運用を図っていく**」

### ESD国内実施計画

### 第2期ESD国内実施計画

→学習指導要領に基づくESDの実施

全体の基盤となる理念：ESD  
前文／総則  
「持続可能な社会の創り手の育成」



## 「国連ESDの10年」の成果をつなぎ、 持続可能な地域づくりと人づくりを推進する



### ESD推進ネットワーク概念図

持続可能な社会を目指して

持続可能な開発目標(SDGs)



学校、地域、職場などで  
ESDに取り組んでいる多様な実践主体  
(ESD活動の現場)

ESDに取り組もうとしている  
多様な主体(潜在的な活動主体)

ニーズ・成果共有  
ESDを広めるため、深めるための働きかけ・支援

多岐・多様・重層的な  
地域ESD活動推進拠点  
(地域ESD拠点)

ニーズ・成果共有  
連携・支援  
ESD活動支援センター  
地方センター(全国8か所)  
+  
全国センター

協力団体  
ESD推進に取り組む組織・団体と  
協力・連携します。

# 東北地方ESD活動支援センター

## 県境を越えてつなぐ

青森

宮城

福島



秋田

青森

宮城

福島



## 学び合いと交流の場づくり



## 顔の見えるネットワークづくり



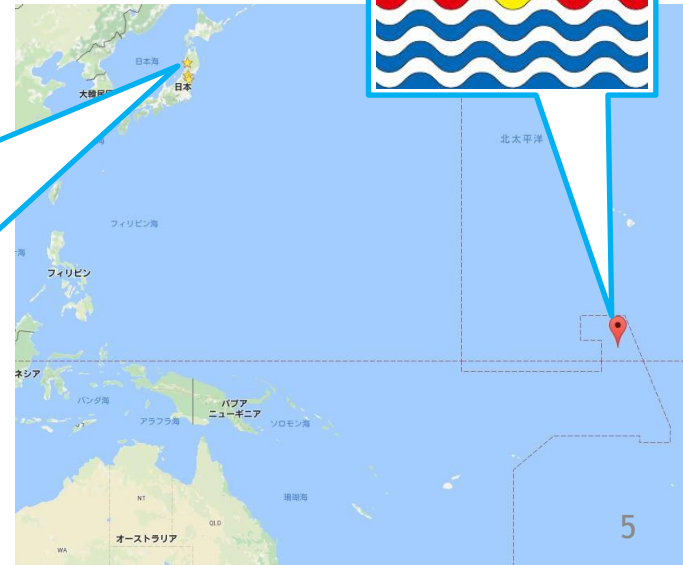
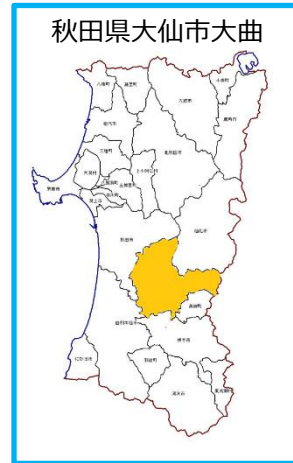


# ESD for 2030 学び合いプロジェクト

## 東北モデルプログラム

### ワールド気候スタディーズESD／SDGs

- 東北地方ESD活動支援センター
- 秋田県大仙市立大曲南中学校
- 一般社団法人あきた地球環境会議（地域ESD活動推進拠点）
- 一般社団法人日本キリバス協会（地域ESD活動推進拠点）



## 背景

第2期ESD国内実施計画

優先分野③  
教育者

ESD推進ネットワーク

学び合いの推進

優先分野⑤  
ローカル  
コミュニティ

支援のためのネットワーク機能

支援体制の充実



テーマ別学び合いの仕組み  
「ESD for 2030 学び合いプロジェクト」  
@全国8カ所

目的

ESD関係者に  
交流と学び合いの機会を  
提供する



# 東北モデルプログラム

## ワールド気候スタディーズESD／SDGs

### 勉強会①

キリバス講演(7/4)  
@大曲南中学校  
(秋田県大仙市)

【対象】全校生徒  
【内容】

- ①講演
- ②ペルソナワークショップ

### 勉強会②

関係者勉強会 (8/1)  
@ALVE  
(秋田県秋田市)

【対象】ESD関係者  
【内容】

- ①7/4PGの共有と振り返り
- ②ESD視点の整理

### 実践活動

オンライン交流授業(10/26)  
@大曲南中学校  
(秋田県大仙市)

【対象】3年生29名  
【内容】

セントレイス中学校 (キリバス)  
との交流授業

### 勉強会③

意見交換会(12/5)  
@オンライン

【対象】ESD関係者  
【内容】

- ①PGの共有と振り返り
- ②ESD視点からあり方議論

### 学校現場の 課題

- ▲「聞きっぱなし」ではない授業
- ▲ゲストティーチャー講演「前」「後」のフォロー
- ▲交流事業における双方向の人材育成
- ▲教科につなげた学習の継続
- ▲「自分事」にいかに関与するか



### R4年度の 試行

- ①モデル授業の実施  
↓
- ②実践者、有識者によるESD視点からの分析と評価  
↓
- ③学校×ESD拠点×ESDセンター  
連携のあり方、支援の在り方  
**役割と機能の整理**

## キリバス講演

日 2022/7/4  
会場 大仙市立大曲南中学校  
対象 中学生1～3年生  
内容

### (1) 講演会

「SDGsってなに？」

～僕の国キリバスから見えること～

(一社) 日本キリバス協会 ケントロ・オノ氏

### (2) ペルソナ(変身)ワークショップ

(一社) あきた地球環境会議 福岡真理子氏  
大人になった自分を想像して

①ある学校の校長先生になりました。

大仙市とキリバスのためにできることを考えましょう

②市長になりました。

大仙市とキリバスのためにできることを考えましょう

聞く



話し合う



現地の人に  
「何でなにもやらなかったの？」  
と言われないようにしたい

私なんかやっただって思わず  
「どこの国を助けられるかもし  
れない！」気持ちを持って過  
ごしたい

班では自分では思いつかない  
ことも出て面白かった



## 大人の勉強会

日 2022/8/1  
会場 ALVE  
対象 教員、有識者、ESD実践者  
内容

### (1) 勉強会①共有と振り返り

「聞く+話し合う」を  
セットで行うことで  
学びを深める参加型の学習ができた

### (2) 意見交換

- ・生徒が「より深く考える」授業を行うために
- ・生徒の行動変容を促すしかけ
- ・国際交流を通して生徒が得る学びとは
- ・ESD授業として大事な要素について

整理



評価



生徒の変容が感じられた。  
より深く考えるようになった。

この後の交流授業でキリバスの  
中学生と友達になれば自  
分事になる。

## オンライン交流授業

日 2022/10/26  
会場 大仙市立大曲南中学校  
対象 中学校3年生  
交流先 キリバス共和国セントルイス中学校2年生  
内容  
(1) 互いに自国を英語で紹介  
(2) 英語による取組スピーチ  
(3) 文化交流クイズ ※以下、通訳付き  
(4) 意見交換  
気候変動をテーマにした質問

知る

話す



考える

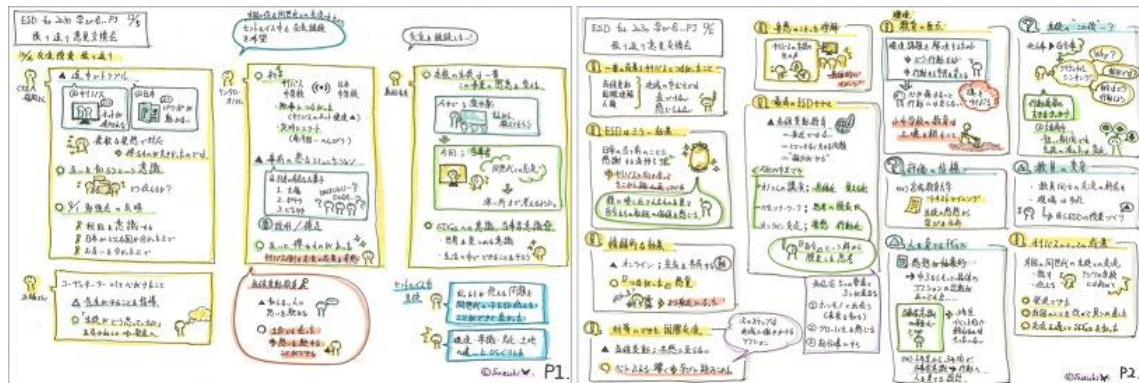


世界中のみんなで  
気候変動を解決して  
一人ひとりが  
夢を持って活躍できる  
未来を作りたい



## 意見交換会

日 2022/12/5  
 形式 オンライン  
 対象 教員、有識者、ESD実践者、ESD拠点  
 内容  
 (1) 東北モデルプログラムの報告  
 (2) ESD視点から「あり方」議論



ノウハウ  
共有 + 議論

## ESDの黄金のステップ



## 気仙沼ESD 大事にした5点

1. 本物に出会い、真実を学ぶ
2. グローバルを感じる
3. 自分事／足元から考える
4. 自分の意思で学べるカリキュラム
5. 多様で重層的なつながりの中の学び

× キリバスの交流をスタートにした気候変動教育

○ 日常生活と気候変動

## 位置づけ

いろんな『つながり』の中のキリバス

→効果的な学びに。

- 普段の取組とのつながり
- 海と生きる探究活動

### STEP1.

気仙沼とつながりの深いキリバスと**出会う**

### STEP 2.

交流によって初めて**相手の想いを知る**

### STEP3.

**自分事**としてとらえる、**多面的**に考える



# 『気候変動教育』の視点

## グローバル人材の育成

世界に目を向ける



地域のリソースを活かして  
ローカルの取組につなげる

いかに地域の文脈を  
気候変動教育の中に入  
れ込むか

## 多角的な視点の醸成

▲ 気候変動で国が無くなる  
かもしれない人たち



世界とのつながりと  
多様性を受け止めることの理解

より深く考える学びを促す

## プロセス体験

自分に何ができるか



社会をどう変えるか？  
の問いかけ

変革体験を積み上げる。  
「自分が世の中を変えられる！」  
経験が大事

※グローバル：

グローバル（global）とローカル（local）を掛け合わせた造語。国境を越えた地球規模の視野と、草の根の地域の視点で、さまざまな問題を捉えていこうとする考え方

活動を評価し合い、  
励まし合い、  
知見を共有する場づくり

例えば、国際交流授業

- 心の知能指数が高まる
- ▲ 継続することが重要

例えば、生徒の変容

- 体験が前向きな成長につながる
- ▲ 「評価し合う」ステップの設計

例えば、トランスフォーメーションの視点

- 自分事としてとらえる
- ▲ 「社会をどう変えるか？」の問いかけ



## ネットワークの強みを活かした 「東北」の連携

開催地:秋田県大仙市

協力地域:

- ・青森県青森市
- ・宮城県仙台市
- ・宮城県気仙沼市
- ・福島県只見町

協力者:

- ・地域ESD活動推進拠点
- ・ESD実践者（元教育委員長、元校長）
- ・有識者







United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization

Member of



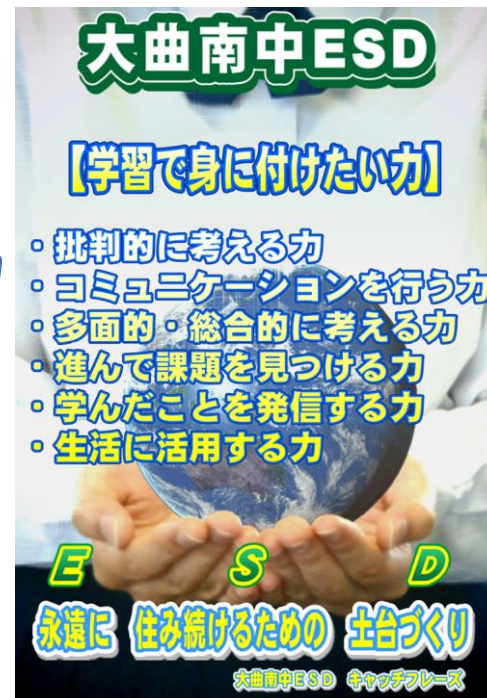
UNESCO  
Associated  
Schools



# 目的 E：教育

## 「学習で身に付けたい力」

- ・ 批判的に考える力
- ・ コミュニケーションを行う力
- ・ 多面的・総合的に考える力
- ・ 進んで課題を見つける力
- ・ 学んだことを発信する力
- ・ 生活に活用する力





# 目的 **SD：持続可能な開発**

「持続可能な開発について  
考え実践する力」

- **SDGsに関する知識・技能**
- **SDGs達成に向かう意欲**
- **課題解決方法の考察**
- **行動変容、実践力**



# ESDカリキュラムの実際

<ESDの視点に沿った総合的な学習の時間>

『総合的な学習の時間のテーマ』

1年生 … 食育  
2年生 … エネルギー教育  
3年生 … 国際教育





# オンライン交流の様子 (AKT秋田テレビニュース映像)





## 生徒の変容（振り返りから）①

○講演会・SDGsワークショップ（7月4日）

○オンライン交流（10月26日）

キリバスのことでも遠い国と考えるのではなく、同じ地球上のこととして考えて自ら行動したいです。

私たちが平等に、平和に活躍できる笑顔あふれる未来を創るのは私たち自身です。周囲の人たちだけでなく世界に発信することの素晴らしさを学ぶことができました。これから一緒に世界中のみんなが幸せになれる未来を創りましょう。

## 生徒の変容（振り返りから）②

### ○講演会・SDGsワークショップ（7月4日）

ケンタロ・オノさんの最後の質問「あなたはこの子たちの目を見て言えますか？『あなたたちはもうすぐここに住めなくなる…』と」私は言えないと思います。世界の人々の大切な「命」を守るために、今自分ができることを最大限に実行したいです。



### ○オンライン交流（10月26日）

気候変動の問題は大きすぎて、子どもの私たちにできることは少ないです。でも、年齢や地位、人種、言葉の壁を壊してしまえば、たくさんの知恵が1つになって解決の道へとつながっていきます。そうすれば、国や島、生きものだけでなく、地球や「未来」まで救えるのです。そういうことを世界に広める人間として生きていきたいです。



# ☆Episode

## 生徒とケンタロ・オノさんのQ&A

### Q:生徒

キリバスの人々はしょっぱい飲み水を飲んでいると聞きましたので、キリバスに、浄水場をつくるのはどうでしょうか？

### A:ケンタロ・オノさん

僕の話聞いて、ただ「かわいそう」、「大変だ」だけではなく、「こんな解決案はないのか？」と前向きに考えてくれたこと、そしてそれを表現してくれたこと、本当に素晴らしいことです。どうもありがとうございました。





浄水場のアイデアはとても素晴らしいのですが、キリバスでは少し難しい問題があります。水から塩分を取るためには、海水淡水化装置というものを使います。ただこれはものすごく電力を使うのと、交換部品の値段の高さ、そして水から取り出した塩分をそのまま海に流してしまうと、海の生き物や海辺の植物に、ものすごく大きな影響があります。とは言え、水無しには人間は生きていけないので、新しい水源を探したり、雨水タンクを多く設置したり、最後の手段として海水淡水化装置も設置したりしています。

今ある問題をどうすれば解決できるのかを考えることは、広い視点・一歩下がって見る力を持っていないとできないのですが、高橋さんはすでにもう持っているようで、本当に素晴らしいことです。ぜひこの先も広い視点・一歩下がって見る力を持って、SDGs達成だけではなく、自分の人生も歩んでいってくださいね。



## 学びの成果

- 全ての生徒が、気候変動を**当事者意識**をもって捉えることができるようになった。
- 足下からの行動も大切であるが、**グローバルな視点**で、世界を視野に入れた考えをしなければならぬことがわかった。
- 気候変動を軸として、様々な問題がつながっている。その解決のために**自分ができることに、世界の人々と一緒に取り組もう**という意識が生まれた。

誰一人取り残さない





## 連携の成果

(東北地域ESD活動支援センター、あきた地球環境会議、日本キリバス協会等)

- 普段の学校では**体験できない学び**を提供してもらえる。
- より**グローバルな視点**で、**SDGs**を**考える**ことができる。
- 教員が「**社会に開かれた教育課程**」実施の**具体的なイメージ**を共有できる。
- 実施プログラムが**探究的な授業づくり**の参考なる。
- 学校の取組を**発信**できる。
- 連携団体の**ネットワーク**を活用して、**他団体や企業等とも連携**できる。



## ワールドピースゲーム

4つの国と国際機関等に分かれ、15時間で23のクライシスを解決しつつ、各国の資産も増やすことが勝利条件となるゲーム

持続可能な社会  
を築くのは  
私たちだ！

